

公益活動報告書(市民活動実績報告書)(令和6年度)

(宛先)岡崎市長

令和7年4月4日

団体名 国民救援会岡崎・幸田支部

代表者 荒川 和美

構成員 131人(※令和7年4月1日時点の構成員数)

団体の目的: 団体の会則・規約に定められた団体の目的を記入してください。

人権の擁護および人権を侵害された人とその家族を救援することを目的とする。

私達の団体が掲げる目的を実現した活動を、以下の項目に従って報告します。
 なお、記載内容を一般に公開することに同意します。

■1 団体の活動目的達成に向けて、今年度はどのような活動をしましたか。(公益活動に限る)

活動日 又は期間	場所	公益を受けた ものは?	受益者 (会員以外)人 数※1	活動内容
6/12(水)	JR 岡崎駅 自由通路	通行人	会員外:120	袴田事件再審裁判の状況を伝えるチラシ120枚配布と対話
8/10(土)	竜美丘会館 301号室	参加者	会員外:11	支部年次大会の公開記念講演「倉敷民 商事件裁判の冤罪性」の講演
12/16(月)	JR 岡崎駅 自由通路	通行人	会員外:150	袴田事件での再審無罪判決を伝え、再 審法の改正が急務であることをアピール するチラシ150枚配布と対話
3/23(日)	市民会館 会議室	参加者	会員外:15	人権映画(レッドパージ:今に続く負の遺 産)DVD 上映。

※1 公益を受けたものが「人」ではない、数が把握できない場合は記載がなくてもよい。<ex.自然環境>

■2 前項1に基づき、1年間の団体活動で岡崎市(広く市民社会一般)に何をもたらしましたか。

人権への理解を促進し、特にえん罪救済のためには再審法の改正が急務であること、などを広く普及できた。

■3 今年度の活動の公益性を自己評価し、付随する質問にお答えください。

①公益性の度合いを自己評価してください(数字に○をつけてください)

高い ← 5 ④ 3 2 1 → 低い

②上記の評価をした理由をお書きください。

この一年、テレビで袴田事件の再審裁判の状況が具体的に報道されて、関心が広がってきた中で、再審無罪判決の状況を時期を失せず、具体的に宣伝したことに、高い関心がよせられた。

裏面の自己診断チェックリストもご記入ください。